

目 次

献呈の辞

I 社会のグローバル化と法

R. レオンハルトの意思表示理論について……………	滝沢 昌彦	3
法と心理学……………	笠井 修	18
——契約法学への応用		
損害賠償種類論における 損害現象論的区分説の骨子……………	高田 淳	42
ドイツの倒産外取消法11条（返還請求権）に 関する考察……………	江島 広人	60
——財産引受との比較と執行忍容訴訟の特質		
ドイツ民法における給付調整条項の機能と 規制について……………	中村 肇	76
オーストリアにおける契約引受論と ハインツ・クレイチ（Heinz Krejci）……………	佐藤 秀勝	95
——その学問的貢献と新たな法定契約引受の創造		
ウィーン国際物品売買条約における売主の契約不適合 追完権と買主の修補費用相当額の賠償請求……………	松井 和彦	112
イギリスにおける不当利得法と契約法の リステイトメントについて……………	木原 浩之	129
ドイツにおける消費者個人による私法上の 権利の実現……………	寺川 永	145
——ディーゼル排ガス不正事件とUWG 9条2項		

Ⅱ 取引の多様化と法

- 宅地建物取引業法に違反する名義貸しの合意と
利益分配の合意の効力……………小林 和子 161
——複数の契約の相互依存関係（契約アプローチ・全体アプローチ）
の視点から
- 情報化社会における意思表示の到達……………山本 弘明 178
- 不動産賃借人による不動産賃貸人の敷地所有権
に関する取得時効の援用について……………山田 創一 193
- 事業者ファクタリングの「貸付け」該当性……………石田 剛 208
- 取引的不法行為における「信頼」による
過失相殺の制限……………小笠原奈葉 225
- アレルギー被害の賠償における
「日常生活上の不利益」……………神田 桂 241
——「茶のしずく石鹼」製造物責任訴訟をめぐる

Ⅲ 現代社会と法

- 司法判断における人工知能の使用……………角田美穂子 259
——革新的テクノロジーが問いかけるもの
- 再生可能エネルギーの供給システムと法……………高橋 寿一 269
——FIT, FIP そして PPA へ
- 韓国大法院判決における少数意見の多様性……………中川 敏宏 288
——共有物を単独占有する共有者に対する明渡請求に関する
事件を素材に

共同漁業権・組合員行使権の法的性質を めぐる一考察……………	宮澤 俊昭	308
——行政作用により設定される私法上の権利の法的構成・序		
配偶者居住権についての考察……………	大沼友紀恵	328
韓国の自治警察制度……………	李 淳東	343

IV 法の歴史的展開

法律進化論と開発法学……………	松尾 弘	361
ノルウェー財団法の概要とその歴史的背景……………	田中 謙一	378
——国と慈善団体との関係という視点から		
オーストリア法における暴利行為論の 成立について……………	堀川 信一	396
——1877年暴利法から ABGB 第3次部分改正（1916年）まで		
20世紀初頭のドイツにおける状態債務説の通説化と ライヒ裁判所による受容……………	大窪 誠	412
——学説の展開と判例形成の過程でエルトマンが果たした役割		
イギリス近代契約法におけるコモン・ロー上の 雇用契約法について……………	向田 正巳	427
——特に農業労働の場合についての考察		
モハトラ契約における正義と隣人愛……………	藤田 貴宏	450
——パスカル『プロヴァンシアル』第八書簡の学説史的背景		
相続開始前の遺留分の放棄……………	羽生 香織	466
民法923条、921条および937条の解釈……………	川 淳一	480
——出発点としての我妻説に関する覚書		

小野秀誠先生 略歴・主要業績